

日 程 表

1日目 11月5日 (土)

| 大学本館 2階 中央講堂 | | 役員会 |
|--------------|--|---------------------------------------|
| 9:00 | | |
| | | 9:00～10:00 常務理事会 本館 2階 第1会議室 |
| 10:00 | | |
| | | 10:00～11:00 理事会 本館 1階 西講堂 |
| 11:00 | 10:55～ 開会の挨拶 11:00～11:30 教育講演 1 「外陰・膣・子宮頸部腫瘍の病理を再考する －WHO分類第4版(2014年)」 演者：三上 芳喜 座長：清川 貴子 | |
| | 11:30～12:20 特別講演 1 「子宮頸がん検診の精度管理の考え方」 演者：青木 大輔 座長：佐々木 寛 | |
| 12:00 | | |
| | 12:45～13:21 一般演題 1 (ランチョン) O-1～O-3 座長：杉山 裕子 | |
| 13:00 | | |
| | 13:30～14:00 評議員会・総会 | |
| 14:00 | 14:00～14:30 教育講演 2 「BRCA 遺伝子変異を有する遺伝性乳癌卵巣癌に対する リスク低減卵管卵巣摘出術の取り扱いに関して」 演者：鈴木 直 座長：青木 大輔 | |
| | 14:30～15:20 特別講演 2：第25回記念講演 「日本婦人科がん検診学会が目指すもの」 演者：佐々木 寛 座長：坂本 優 | |
| 15:00 | | |
| | 15:30～17:30 シンポジウム 1 「子宮頸がん予防 (1) 細胞診と精度管理 (受診率、要精検率、液状化等)」 S1-1～S1-4 座長：植田 政嗣 小田 瑞恵 | |
| 16:00 | | |
| | 17:30～18:06 一般演題 2 O-4～O-6 座長：上坊 敏子 | |
| 17:00 | | |
| | 18:30～ 総懇親会 虎ノ門ヒルズ 2階 アジアリゾート「グリーンラタン」 出演：Max Luxury (ロシア出身の3人組ヴォーカル・ユニット) | |
| 19:00 | | |
| 20:00 | | |

2日目 11月6日 (日)

| 大学本館 2階 中央講堂 | |
|--------------|--|
| 9:00 | |
| | 9:00～9:30 教育講演 3 「子宮頸がん検診とコルポスコピー」 演者：植田 政嗣 座長：室谷 哲弥 |
| 10:00 | |
| | 9:30～11:30 シンポジウム 2 「子宮頸がん予防 (2) 細胞診とHPV」 S2-1～S2-5 座長：鈴木 光明 宮城 悦子 |
| 11:00 | |
| | 11:40～12:30 ランチョンセミナー 「ドイツの集団検診におけるアプティマ®HPVの 5-6年にわたる経年陰性的中率について」 演者：Thomas Iftner 座長：藤井 多久磨 (共催：ホロジックジャパン株式会社) |
| 12:00 | |
| | 12:40～13:30 特別講演 3 「子宮頸がん検診とHPV ワクチン」 演者：今野 良 座長：野田 起一郎 |
| 13:00 | |
| | 13:30～14:20 特別講演 4 「体液マイクロRNA とがん検診」 演者：落谷 孝広 座長：岡本 愛光 |
| 14:00 | |
| | 14:30～15:00 教育講演 4 「職域子宮頸がん検診の受診率・精度管理の現状」 演者：小田 瑞恵 座長：八重樫 伸生 |
| 15:00 | |
| | 15:00～16:30 シンポジウム 3 「液状化検体細胞診の進歩」 S3-1～S3-4 座長：大村 肇夫 木口 一成 |
| 16:00 | |
| | 16:30～ 閉会の挨拶 |
| 17:00 | |
| | |
| 18:00 | |
| | |
| 19:00 | |
| | |
| 20:00 | |

プログラム

1日目 11月5日(土)

開会の挨拶

11月5日(土) 10:55～

坂本 優 (公益財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院婦人科/東京慈恵会医科大学産婦人科)

教育講演 1

11月5日(土) 11:00～11:30

座長: 清川 貴子 (東京慈恵会医科大学病理学講座)

ES-1 外陰・膣・子宮頸部腫瘍の病理を再考する— WHO 分類第4版 (2014年)

○三上 芳喜

熊本大学医学部附属病院病理診断科

特別講演 1

11月5日(土) 11:30～12:20

座長: 佐々木 寛 (医療法人沖縄徳洲会千葉徳洲会病院婦人科/日本婦人科がん検診学会理事長)

SL-1 子宮頸がん検診の精度管理の考え方

○青木 大輔

慶應義塾大学医学部産婦人科

一般演題 1 (ランチョン)

11月5日(土) 12:45～13:21

座長: 杉山 裕子 (がん研究会有明病院細胞診断部)

0-1 当院の職域健診における子宮頸部細胞診 ASC-US の追跡結果について

○岡 俊郎¹⁾、石井 保吉¹⁾、小田 瑞恵²⁾、大村 峯夫²⁾

¹⁾ ところとからだの元氣プラザ臨床検査部細胞病理診断科、²⁾ 同婦人科

0-2 過去13年間に受診勧奨を行ったHSIL214例のうち診断・治療に至った37例のまとめ

○中村 恵美子

JA長野厚生連篠ノ井総合病院臨床検査科

0-3 子宮頸部細胞診AGC症例の病理組織学的検討と転帰

○川口 徹也、今福 仁美、鈴木 嘉穂、宮原 義也、蝦名 康彦、山田 秀人

神戸大学

教育講演 2

11月5日(土) 14:00～14:30

座長: 青木 大輔 (慶應義塾大学医学部産婦人科)

ES-2 BRCA 遺伝子変異を有する遺伝性乳癌卵巣癌に対するリスク低減卵管卵巣摘出術の取り扱いに関して

○鈴木 直

聖マリアンナ医科大学産婦人科学

特別講演 2：第 25 回記念講演

11月5日(土) 14:30～15:20

座長：坂本 優 (公益財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院婦人科/東京慈恵会医科大学産婦人科)

SL-2 日本婦人科がん検診学会が目指すもの

○佐々木 寛

医療法人沖縄徳洲会千葉徳洲会病院婦人科/日本婦人科がん検診学会理事長

シンポジウム 1 子宮頸がん予防(1)細胞診と精度管理(受診率、要精検率、液状化等)

11月5日(土) 15:30～17:30

座長：植田 政嗣 (大阪がん循環器病予防センター婦人科検診部)

小田 瑞恵 (こころとからだの元氣プラザ婦人科)

S1-1 新潟県の対策型子宮がん検診成績：液状化検体法を中心とした解析

○児玉 省二

医療法人恒仁会新潟南病院産婦人科

S1-2 子宮がん検診の精度管理—震災以降の宮城県での取り組み—○伊藤 潔¹⁾、小澤 信義²⁾、秀城 浩司³⁾、佐藤 朋春³⁾、田勢 亨⁴⁾¹⁾ 東北大学災害科学国際研究所災害産婦人科学分野 ²⁾ おざわ女性総合クリニック³⁾ 宮城県対がん協会細胞診センター ⁴⁾ 宮城県立がんセンター婦人科**S1-3 滋賀県における子宮頸がん検診の精度管理の取り組み**

○高橋 健太郎

滋賀医科大学女性診療科

S1-4 異型細胞の検出率からみる精度の高い標本

○加藤 順子

株式会社日本セルネット

一般演題 2

11月5日(土) 17:30～18:06

座長：上坊 敏子 (独立行政法人地域医療機能推進機構相模野病院婦人科腫瘍センター)

0-4 HPV16 型 variants から見た子宮頸がん発生率の相違ならびに日本民族の成り立ち

○藤田 博正、佐々木 隆之

北海道対がん協会細胞診センター

0-5 母親を介した 20 歳女性に対する子宮がん検診受診勧奨の有効性の検討○八木 麻未¹⁾、上田 豊¹⁾、岡澤 晶子¹⁾、吉野 潔¹⁾、木村 正¹⁾、佐藤 美紀子²⁾宮城 悦子²⁾、関根 正幸³⁾、榎本 隆之³⁾、志村 研太郎⁴⁾¹⁾ 大阪大学 ²⁾ 横浜市立大学 ³⁾ 新潟大学 ⁴⁾ 大阪産婦人科医会**0-6 子宮頸がん検診受診率の向上のために**○太城 勘介¹⁾、荒垣 誠実¹⁾、宇田 真也²⁾、早瀬 泰行²⁾、澤 律子³⁾、杉山 正子⁴⁾久川 聡⁵⁾¹⁾ 株式会社保健科学研究所大阪病理センター ²⁾ 株式会社保健科学西日本³⁾ 一般財団法人日本予防医学協会 ⁴⁾ すぎやまレディースクリニック ⁵⁾ 株式会社保健科学研究所

プログラム

2日目 11月6日(日)

教育講演 3

11月6日(日) 9:00～9:30

座長：室谷 哲弥(こころとからだの元氣プラザ婦人科)

ES-3 子宮頸がん検診とコルポスコピー

○植田 政嗣¹⁾、明瀬 光里¹⁾、出馬 晋二¹⁾、鳥居 貴代¹⁾、岡本 吉明¹⁾、田中 一朗¹⁾
布引 治²⁾、明石 京子³⁾、東田 太郎⁴⁾、小笠原利忠⁵⁾

¹⁾ 大阪がん循環器病予防センター婦人科検診部 ²⁾ 神戸常盤大学保健科学部医療検査学科

³⁾ 京都府立医科大学産婦人科 ⁴⁾ 赤穂市民病院産婦人科 ⁵⁾ 誠仁会大久保病院婦人科

シンポジウム 2 子宮頸がん予防(2) 細胞診とHPV

11月6日(日) 9:30～11:30

座長：鈴木 光明(新百合ヶ丘総合病院がんセンター)

宮城 悦子(横浜市立大学附属病院産婦人科)

S2-1 子宮頸がん征圧を目指して— 細胞診・HPV 検査併用検診 10年 —

○岩成 治

島根県立中央病院産婦人科

S2-2 子宮頸がん検診手法としての細胞診とHPV 検査の有用性に関する研究

○森定 徹¹⁾、雑賀公美子²⁾、齊藤 英子³⁾、斎藤 博²⁾、青木 大輔¹⁾

¹⁾ 慶應義塾大学医学部産婦人科学教室

²⁾ 国立がん研究センター がん予防・検診研究センター検診研究部

³⁾ 国際医療福祉大学三田病院予防医学センター

S2-3 HPV 併用検診から子宮頸がん検診の精度管理を考える

○寺本 勝寛¹⁾、坂本 光正²⁾、小林 奈美²⁾、三村 理恵²⁾、原田さつき²⁾、杉田 典子²⁾

石井 恵理³⁾、雨宮 健司³⁾、輿石 早紀³⁾、小山 敏雄³⁾

¹⁾ 山梨県立中央病院婦人科 ²⁾ 甲府市医師会細胞診センター

³⁾ 山梨県立中央病院病理診断部細胞診・病理

S2-4 細胞診／HPV 検査併用子宮頸がん検診(小山地区)

○藤原 寛行¹⁾、鈴木 光明²⁾、森澤 宏行¹⁾、佐山 雅昭³⁾、平尾 潔³⁾、木村 孔三⁴⁾

¹⁾ 自治医科大学産婦人科 ²⁾ 新百合ヶ丘総合病院がんセンター ³⁾ 栃木県産婦人科医会

⁴⁾ 小山地区医師会

S2-5 北海道における HPV 検査を応用した新しい検診システム導入への取り組み

○Sharon Hanley

北海道大学大学院医学研究科総合女性医療システム学講座

ランチョンセミナー

11月6日(日) 11:40～12:30

座長：藤井 多久磨 (藤田保健衛生大学医学部産婦人科)

共催：ホロジックジャパン株式会社

LS Determination of the 5 to 6-year longitudinal negative predictive value of the Aptima HPV test in a routine screening population in Germany

- Thomas Iftner^{1*)}、Sven Becker^{2*)}、Klaus-Joachim Neis³⁾、Alejandra Castanon⁴⁾
Annette Staebler⁵⁾、Melanie Henes²⁾、Claus Hann von Weyhern⁵⁾、Andreas Clad⁶⁾
Sara Brucker²⁾、Peter Sasieni⁴⁾

¹⁾ Division of Experimental Virology, Institute of Medical Virology, University Hospital Tübingen, Germany

²⁾ Department of Gynecology and Obstetrics, University Hospital Tübingen, Germany

³⁾ Frauenärzte am Staden, Saarbrücken, Germany

⁴⁾ Centre for Cancer Prevention, Queen Mary University of London, United Kingdom

⁵⁾ Department of Pathology and Neuropathology, University Hospital Tübingen, Germany

⁶⁾ Department of Gynecology, Obstetrics and Medical Microbiology, Albert-Ludwigs-University Freiburg, Germany

* both authors contributed equally

特別講演 3

11月6日(日) 12:40～13:30

座長：野田 起一郎 (近畿大学名誉学長)

SL-3 子宮頸がん検診と HPV ワクチン

- 今野 良

自治医科大学附属さいたま医療センター産婦人科

特別講演 4

11月6日(日) 13:30～14:20

座長：岡本 愛光 (東京慈恵会医科大学産婦人科)

SL-4 体液マイクロRNA とがん検診

- 落谷 孝広

国立がん研究センター研究所分子細胞治療研究分野

教育講演 4

11月6日(日) 14:30～15:00

座長：八重樫 伸生 (東北大学医学部産婦人科)

ES-4 職域子宮頸がん検診の受診率・精度管理の現状

- 小田 瑞恵^{1, 4)}、大村 峯夫¹⁾、高橋 照美²⁾、赤塚 裕子²⁾、石井 保吉³⁾、栗原 達哲³⁾
岡 俊郎³⁾

¹⁾ こころとからだの元氣プラザ婦人科 ²⁾ 同女性健診部 ³⁾ 同細胞病理診断科

⁴⁾ 東京慈恵会医科大学産婦人科

シンポジウム 3 液状化検体細胞診の進歩

11月6日(日) 15:00～16:30

座長：大村 峯夫 (こころとからだの元氣プラザ婦人科)

木口 一成 (東京都予防医学協会検査研究センター)

S3-1 子宮頸部の液状化検体細胞診— 現状と今後の展望 —

○久布白 兼行

東邦大学医療センター大橋病院婦人科

S3-2 子宮頸部細胞診の液状化検体細胞診 (LBC) と CITRUS スタディ

○寺本 勝寛¹⁾、坂本 光正²⁾、小林 奈美²⁾、三村 理恵²⁾、原田さつき²⁾、杉田 典子²⁾
石井 恵理³⁾、雨宮 健司³⁾、輿石 早紀³⁾、小山 敏雄³⁾

¹⁾ 山梨県立中央病院婦人科 ²⁾ 甲府市医師会細胞診センター

³⁾ 山梨県立中央病院病理診断部細胞診・病理

S3-3 液状化検体細胞診を用いた子宮内膜細胞診の精度向上

○矢納 研二¹⁾、則松 良明²⁾、平井 康夫³⁾

¹⁾ JA 三重厚生連鈴鹿中央総合病院産婦人科 ²⁾ 愛媛県立医療技術大学保健科学部

³⁾ BML 総合研究所内ピーシーエルジャパン川越センター細胞診検査部

S3-4 子宮内膜液状化検体細胞診を用いた子宮体癌スクリーニング多施設共同研究の現況

○平井 康夫

獨協医科大学産婦人科

閉会の挨拶

11月6日(日) 16:30～

坂本 優 (公益財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院婦人科／東京慈恵会医科大学産婦人科)